若狭鯖街道熊川宿

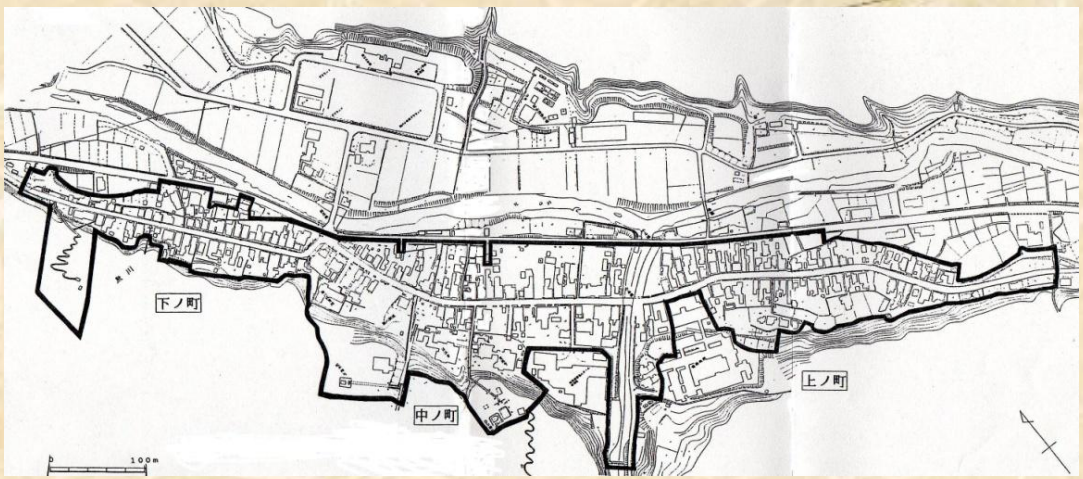
～多彩な活動を町並みの次世代継承につなげる～

大正時代の熊川宿

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

宮本哲男

若狭町熊川宿重要伝統的建造物群保存地区



選定：平成8年7月9日（全国で42番目）
地区面積：10.8ha
地区人口：225人　地区世帯：95世帯
伝統的建造物：建築物215件
工作物132件

景観整備

平成11年に整備が完了した中ノ町

平成17年に整備が完了した下ノ町

道路が地道風に、電線電柱がなくなり、前川の護岸を石積みにして、橋が架かりました。山並みを借景に開放的な歴史的景観がよみがえりました。

多彩な活動主体①

- 若狭熊川宿まちづくり特別委員会
- 熊川宿町並み保存伝統技術研究会
- 熊川宿伝統芸能保存会

いにしえと 未来を結ぶ まちづくり　町並み通信・第24号

平成24年2月1日発行

鯖街道 熊川宿

若狭熊川宿まちづくり特別委員会
福井県三方上中郡若狭町熊川
TEL／FAX (0770) 62-0330
熊川宿ホームページ http://kumagawa-juku.com

重伝建選定15周年を祝う

「まちづくりフォーラム」など記念事業を開催

平成8年7月9日に全国で42番目となる重伝建の選定を受けた熊川宿は、昨年で15周年を迎え、熊川三区市民文化振興財団の運営による10月16日、「若狭鯖街道熊川宿まちづくりフォーラム」の記念事業を開催しました。

午後から始まった記念式典では、来賓を主催者の挨拶に続き、スライド「熊川宿まちづくりの軌跡」が上映され、懐かしい映像を鑑賞しました。

続いて第一部のフォーラムに移り、文化庁文化財調査官の清水芳明氏と（財）日本ナショルナルトラスト主任研究員の土井利夫氏の記念講演が行われました。

午後中、準備が行われ、熊川三区内にお祝いの紅白幕が配られました。

午前中、準備が行われ、熊川三区内にお祝いの紅白幕が配られました。

休憩時間には「熊川宿おもてなしの会」による「お製菓まつりかん」が振る舞われました。

これまでお世話になった方々から、苦労話や思想などをお聞きしました。

第二部の交流会では、まちづくり委員らによるお祝いの舞が行われ、来場者につられての踊りが行われ、盛況が振る舞われました。

最後に一乗寺郷土芸能保存会の皆さんによってせん踊りと、熊川宿伝統芸能保存会や熊川三区民による熊川音頭が披露され、記念事業を締めくくりました。

（2ページに関連記事）

重伝建選定15周年記念事業（平成23年10月16日）

目次

重伝建選定15周年を祝う…… 1
重伝建選定15周年記念事業 まちづくりフォーラム… 2
寄稿文・お知らせ……3
熊川いっぷく時代村……4
寄稿文・話題……5
活動報告・名所紹介……6

まちづくり活動の情報発信

80年ぶりに復活させた「てっせん踊り」

白石神社の山車と見送り幕を40年ぶりに復元

多彩な活動主体②

- 熊川いっぷく時代村実行委員会
- 熊川宿おもてなしの会
- 熊川区自主防災会
- 熊川宿ほたる生息研究会
- 熊川葛振興会
- 若狭町かみなかの語り部

秋の観光イベント「熊川いっぷく時代村」

語り部活動

近年の取り組み①

旧逸見家を活用したおもてなし

～自立したまちづくり型経済活動の実践～

喫茶「勘兵衛茶屋」まえで

勘兵衛家を宿泊施設として活用

一人の主婦のひと言から、仲間の輪が広がり、平成19年、熊川宿おもてなしの会による喫茶「勘兵衛茶屋」がオープンしました。平成21年からは宿泊施設の運営も始めています。

近年の取り組み②

安心して暮らせる、訪れる町へ

～防災まちづくりの取り組み～

5回行った防災ワークショップ

2010自主防災デー組対応「プチ操法」

平成21年、「伝建地区熊川宿の防災まちづくり計画」策定。ワークショップで作成した「住民アクションプラン」を計画に取り入れたことで実行性の高い計画になりました。

2010自主防災デーバケツ消火訓練

熊川婦人消防隊　前川からの給水訓練

京都清水地区への防災視察研修

近隣火災通報システムの通報用子器

近年の取り組み③

ホタルの育成と伝統食材「熊川葛」の復興

小学生とホタル生育の研修

「ほたるの宿」の整備

平成20年、前川が「平成の名水百選」に選定されると、ホタルが育つ自然環境を取り戻そうと「ほたる生息研究会が発足。小学生とホタルの育成に取り組んでいます。

急傾斜の山地での葛根堀り

葛根の寒さらし作業

平成23年、継承が危ぶまれる「熊川葛」を再興するため、有志が立ち上がりました。近くの山で葛根を掘り、二十数回の寒晒し作業を経て、純白の「熊川本葛」を作り上げました。

熊川宿のこれから

歴史や文化を活かした活動に取り組み、
地域の魅力を発信し、自分たちの町に誇りを持ち、
多彩な活動や、多方面の交流を通じて
生きがいを見出すことで
楽しく快適に暮らし続けることができる

そんな熊川宿を目指します。

幻想的な陶の明かり展